

会長便り

創立100周年募金期間～残すところ10ヶ月～

菊地 芳朗 (GS34)



今年の夏は例年にならずに暑さに加え、局地的な集中豪雨がありました。このような現象が地球規模的に生じているようで、地球温暖化の影響でしょうか。体調を崩されたり、被災された方々にはお見舞い申し上げます。

企業数の多い秋田支部と東京支部では積極的に企業訪問を行っています。特に、東京支部では9月から先生方と一緒に企業訪問を行っています。先生方に企業訪問を頂いておられますので、これからの企業募金に期待しております。各支部におかれましても、企業訪問をお願い致します。

募金期間も残すところ1年を切りました。これからが勝負の時と心得ております。

今回もまた悲しいことから申し上げなければなりません。9月9日に顧問の能登文敏先生が、9月22日に副会長の鎌田孫作さんがお亡くなりになりました。特に鎌田さんは100周年募金の秋田県内のことで、前日に企業訪問の打ち合わせをしたばかりでした。交通事故でした。皆様も交通事故には十分お気を付け下さい。

ご両人に謹んで哀悼の意を表しますと共に、ご冥福をお祈り申し上げます。

さて、創立100周年の募金ですが、先ず最初に多くの会員の皆様からご芳志を賜りましたことに厚くお礼申し上げます。

10月31日現在：4,038名(件)(分割件数576件を入れると4,614件) 総額：1億7,219万円、その内訳は

企業	209社	5,152万円
篤志家	16名	147万円
教職員	146名	915万円
学部後援会	11回	2,365万円
北光会	3,656名	8,640万円

となっております。

これらの目標額に対する達成率を見ますと、全体では57.4%(目標額：3億円)で、企業34.3%(目標額：1億5,000万円)、教職員は学部後援会を含めて65.6%(目標額：5,000万円)、北光会86.4%(目標額：1億円)となっております。企業と教職員が遅れておりますが、このことについては、先の「北光」第147号の「会長便り」で述べております。

最近資源関係に関することでレアアースとチリの鉱山事故がありました。

レアアースは尖閣諸島沖での中国漁船衝突事件から発生した問題で、母校で研究している資源の回収も勿論大切ですが、資源を一國に頼ることが如何に危険か、と言うことでしょう。資源の分散化は大切で、円高は国内の産業に色々な問題を生じておりますが、考え方を変えれば資源開発に国外へ出て行くまたないチャンスかも知れません。

チリの鉱山落盤事故は世界の注目を集めました。33人全員が無事救出され、「奇跡の救出」とも言われました。本当に良かったことと思います。

メキシコ湾の原油流出事故もありました。鉱山事故は過去にも多くありました。色々対策が取られてきましたが、未だ絶無とは行かないようです。

まだ仕事をしていた頃、鉱場長と鉱業所長を経験しましたが、在勤中「保安」と言う二文字が頭から離れることはありませんでした。今回のことでも、環境汚染を含めた更なる安全対策が必要と言うことでしょう。

これから年末を迎えますが、来年は母校創立100周年です。皆様と共によい年を迎え、創立100周年を祝いましょう。

北光会は皆様の会費で維持されております。会費納入率の向上にご協力下さい。